

英語英文学科

科目名	イギリス文学講読Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位(選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	<p>少し長めの文学作品を丁寧に読んでいくことを通じて、イギリス文学作品を原書で鑑賞する力を身につける。取り上げる作品は、Lewis Carroll の <i>Alice's Adventures in Wonderland</i> である。この作品は、イギリス児童文学の中でも最も有名なものの一つであり、現在でも多くの人々に読まれている。このような作品を読むことにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、英語圏の人々とのコミュニケーションに間接的に役立てられるようにする。</p>				
授業計画	① ガイダンス・作品、作者について ② Chapter I ③ Chapter II ④ Chapter III ⑤ Chapter IV ⑥ Chapter V ⑦ Chapter VI ⑧ Chapter VII		⑨ Chapter VIII ⑩ Chapter IX ⑪ Chapter X ⑫ Chapter XI ⑬ Chapter XII ⑭ 『不思議の国のアリス』のまとめ ⑮ 『不思議の国のアリス』の歴史・総復習		
評価方法	授業姿勢(30%)、期末レポート(70%)				
履修条件					
教科書	Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass and What Alice Found There</i> , OUP.				
参考書	初回の授業で提示する。				

英語英文学科

科目名	イギリス文学講読Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	<p>イギリスを代表する劇作家である William Shakespeare の作品をいくつか取り上げ、講読する。メインのテキストとしては、子供向けに書かれた再話物語を使う。有名な場面や台詞については、原典からの抜粋や映像作品を通して理解を深めていく。イギリス文化の主要な部分の一つである Shakespeare とその作品に対する知識を深めることにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、英語圏の人々とのコミュニケーションに間接的に役立てられるようにすることを目的とする。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② <i>Romeo and Juliet</i> 1 ③ <i>Romeo and Juliet</i> 2 ④ <i>Romeo and Juliet</i> 3 ⑤ <i>Romeo and Juliet</i> 4 ⑥ <i>Romeo and Juliet</i> 5 ⑦ <i>Romeo and Juliet</i> 6 ⑧ <i>Romeo and Juliet</i> 7		⑨ <i>The Merchant of Venice</i> 1 ⑩ <i>The Merchant of Venice</i> 2 ⑪ <i>The Merchant of Venice</i> 3 ⑫ <i>The Merchant of Venice</i> 4 ⑬ <i>The Merchant of Venice</i> 5 ⑭ <i>The Merchant of Venice</i> 6 ⑮ <i>The Merchant of Venice</i> 7・まとめ		
評価方法	授業姿勢(20%)、中間レポート(40%)、期末レポート(40%)				
履修条件					
教科書	Charles and Mary Lamb. <i>Tales from Shakespeare</i> , Penguin Classics.				
参考書	初回の授業で提示する。				

英語英文学科

科目名	アメリカ文学講読Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位（選択）	担当者	古東 佐知子
授業概要	アメリカ文学のモダニズム作品 F. Scott Fitzgerald, <i>The Great Gatsby</i> (1925)、と同時代に書かれた黒人文学のモダニズム作品を取りあげる。アメリカ文学の主要作品である2作品の重要箇所を精読することによって、単なる作品の鑑賞にとどまらず、歴史的背景や社会的価値、どのような問題意識で、どのようなテーマが提示されているのかも理解する。またアメリカ文学の主要な作家・文学作品について、グループ発表を行う。				
授業計画	① ガイダンス ② アメリカ文学概観・グループ分け ③ <i>The Great Gatsby</i> ビデオ鑑賞 ④ <i>The Great Gatsby</i> ビデオ鑑賞と講義 ⑤ <i>The Great Gatsby</i> 作品講読 - (1) ⑥ <i>The Great Gatsby</i> 作品講読 - (2) ⑦ <i>The Great Gatsby</i> 作品講読 - (3) ⑧ <i>The Great Gatsby</i> 解釈/主題について議論		⑨ 主要文学作品・作家についてのグループでの発表 ⑩ アメリカ黒人文学の時代背景・解説 ⑪ モダニズム期の黒人文学作品講読 - (1) ⑫ モダニズム期の黒人文学作品講読 - (2) ⑬ モダニズム期の黒人文学作品講読 - (3) ⑭ モダニズム期の黒人文学作品講読 - (4) ⑮ 作品についての議論		
評価方法	期末レポート50%      グループ発表20%      課題・授業発表30%				
履修条件					
教科書	井上謙治著『AN OUTLINE OF AMERICAN LITERATURE アメリカ文学概観』 南雲堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	アメリカ文学講読Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位（選択）	担当者	古東 佐知子
授業概要	奴隷制を題材にした Mark Twain, <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> (1885) と、アフリカ系アメリカ人の文学の代表作 Richard Wright, <i>Native Son</i> (1940) を取りあげる。これらの作品を講読することにより、アメリカ文学の主題である「人種の問題」や当時の社会背景、ステレオタイプを克服することの困難さについて考察する。また、単に「物語」を楽しむだけではなく、作品を通してアメリカの世界について触れ、色々な観点から深く物事を捉えられるようにする。				
授業計画	① ガイダンス ② アメリカ文学概観 後半 ③ <i>Huckleberry Finn</i> ビデオ鑑賞 ④ <i>Huckleberry Finn</i> ビデオ鑑賞と講義 ⑤ <i>Huckleberry Finn</i> 作品講読 - (1) ⑥ <i>Huckleberry Finn</i> 作品講読 - (2) ⑦ <i>Huckleberry Finn</i> 作品講読 - (3) ⑧ <i>Huckleberry Finn</i> 解釈/主題について議論		⑨ Richard Wright と <i>Native Son</i> に関する講義 ⑩ <i>Native Son</i> 作品講読 - (1) ⑪ <i>Native Son</i> 作品講読 - (2) ⑫ <i>Native Son</i> 作品講読 - (3) ⑬ <i>Native Son</i> 作品講読 - (4) ⑭ <i>Native Son</i> 解釈/主題についての議論 ⑮ 小説についてのグループ発表		
評価方法	期末レポート50%      グループ発表20%      課題・授業発表30%				
履修条件					
教科書	井上謙治著『AN OUTLINE OF AMERICAN LITERATURE アメリカ文学概観』 南雲堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	アカデミック・イングリッシュ I	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位 (選択)	担当者	コットン ランダル
授業概要	The goal of this course is to help students improve their ability to write short essays in English. The focus is on <i>production</i> of English – learning through doing. The course will start with the basics of good paragraph writing (according to Western modes of composition). These skills include learning how to write effective topic sentences and create unified paragraphs that have coherent support. Students will practice these composition skills by writing paragraphs about various topics.				
授業計画	① Orientation / Paragraph organization ② Sentence basics ③ The writing process ④ Narrative paragraphs / Time order (Part 1) ⑤ Narrative paragraphs / Compound sentences / WA 1-1 ⑥ Developing topic sentences ⑦ Writing supporting sentences ⑧ Concluding sentences		⑨ Making an outline / WA 1-2 ⑩ Creating coherence in paragraphs ⑪ Using transition signals / WA 1-3 ⑫ Process paragraphs / Time order (Part 2) ⑬ Process paragraphs / Complex sentences ⑭ Considering the purpose & audience / WA 1-4 ⑮ Review / Writing journals due ⑯ Exam / WA 1-5 due		
評価方法	出席状況30%、提出物・宿題40%、少テスト・定期試験30%				
履修条件					
教科書	<i>Longman Academic Writing Series 3: Paragraphs to Essays</i> (4th Ed). Alice Oshima & Ann Hogue. Pearson (2014)				
参考書	和英・英和辞書を持参すること。				

英語英文学科

科目名	アカデミック・イングリッシュ II	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位 (選択)	担当者	コットン ランダル
授業概要	In Academic English II, students will begin writing longer paragraphs and, eventually, essays. The main goal is to equip students with basic essay writing skills that will enable them to gather and use information from various sources. Summary writing teaches students to read critically to comprehend the content and point of view. Paraphrase writing teaches students how to use another person's ideas in their own words. Finally, students learn how to combine information written by different authors to support an essay thesis.				
授業計画	① Spring semester review ② Definition paragraphs / Appositives ③ Definition paragraphs / Adjective clauses ④ Definition paragraphs / Complex sentences / WA 2-1 ⑤ Cause & effect paragraphs: Organization ⑥ Cause & effect paragraphs: Support ⑦ Cause & effect paragraphs: Transition signals / WA 2-2 ⑧ Comparison/Contrast paragraphs: Organization		⑨ Comparison/Contrast par: Transition signals / WA 2-3 ⑩ Essay organization ⑪ Hooks and thesis statements ⑫ Transitions between paragraphs / Outlines / WA 2-4 ⑬ Opinion essays: Organization ⑭ Conducting a survey / WA 2-5 (Essay 1) ⑮ Review / Writing journals due ⑯ Exam / WA 2-6 due (Essay 2)		
評価方法	出席状況30%、提出物・宿題40%、少テスト・定期試験30%				
履修条件	「アカデミック・イングリッシュ I」を受講すること。				
教科書	<i>Longman Academic Writing Series 3: Paragraphs to Essays</i> (4th Ed). Alice Oshima & Ann Hogue. Pearson (2014)				
参考書	和英・英和辞書を持参すること。				

## 英語英文学科

科目名	イギリス文学史	配当年次 単位数	2年前期／講義 2単位（選択）	担当者	鈴木 辰一
授業概要	<p>文学を専門的に学ぶ者として、最低限知っておくべきイギリス文学についての知識の習得を目指す。この授業では古英語の時代から現代に至るまでのイギリス文学の歴史を概観する。授業では、各時代の時代背景や代表的な作家の作品とその特徴などについての講義を、実際に文学作品の抜粋などを読みながら進めていく。また、授業外の課題として、3冊以上の文学作品を読み、その概要などを Book Report としてまとめて提出することを課す。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② Chaucer ③ Spenser, Marlowe ④ Shakespeare ⑤ Jonson, Donne ⑥ Milton, Dryden, Pope ⑦ Johnson, Richardson, Austen ⑧ Blake, Wordsworth, Coleridge	⑨ Byron, Shelley, Keats ⑩ Tennyson, Browning ⑪ Dickens, Brontë ⑫ Hardy, Wilde, Forster ⑬ Woolf, Lawrence, Joyce ⑭ Eliot, Auden, Murdoch ⑮ まとめ			
評価方法	授業姿勢（20%）、課題（20%）、Book Report（60%）				
履修条件					
教科書	Michiyoshi Aijima, <i>An Outline of English Literature</i> , 南雲堂				
参考書	初回の授業で提示する。				

## 英語英文学科

科目名	イギリス文化論	配当年次 単位数	2年後期／講義 2単位（選択）	担当者	鈴木 辰一
授業概要	<p>イギリス社会、イギリス文化を概観する。毎回の授業では、キーとなるトピックを一つ取り上げ、その事柄について講義を行う。イギリス文化を学び、研究する上で必要な最低限の知識を得ることを目的とする。また、異文化理解を深めることを通じて、国際的な視野を持った教養人になることをも目標とする。</p>				
授業計画	① ガイダンス／イギリスについて ② 王室について ③ 政治について ④ 宗教について ⑤ 初等・中等教育について ⑥ 高等教育について ⑦ ジャーナリズムについて ⑧ 大英博物館について	⑨ シェイクスピアについて ⑩ 児童文学について ⑪ 音楽について ⑫ 食生活について ⑬ スポーツについて ⑭ 世界におけるイギリスについて ⑮ まとめ			
評価方法	授業姿勢（30%）、期末レポート（70%）				
履修条件					
教科書	Adrian J. Pinnington, <i>On Britain: An Introduction</i> , 開文社				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	英語学概論Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／講義 2単位（選択）	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>英語学とは、英語を対象とした言語学のことである。 英語の背後に潜んでいる様々な規則性や歴史を見つけ出し、英語という言語の仕組みを明らかにしようとする幅広い研究分野を含んでいる。 英語を教える立場に立つ人や学ぶ人にとっても、役に立つ知識・理論を提供してくれる学問分野である。 本概論では各分野の中で以下の項目について概説する。1年生前期の教養演習も思い出して欲しい。</p>				
授業計画	<p>① ガイダンス ② 英語学の各分野の紹介（英語史の詳細は後期） ③ 国際語としての英語 ④ 英語の文構造(1)・伝統文法(1)・構造主義 ⑤ 英語の文構造(2)・生成文法(1) ⑥ 英語の文構造(2)・生成文法(2) ⑦ 英語の文構造(2)・生成文法(3) ⑧ 英語の文構造(1)・伝統文法(2)</p>		<p>⑨ 英語の音構造・音声学・音韻論 ⑩ 英語の語構造(1)・形態論 ⑪ 英語の語構造(2)・語形成 ⑫ 英語の文構造(3)・意味役割 ⑬ 英語の意味構造(1)・意味論 ⑭ 英語の意味構造(2)・語用論 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験</p>		
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点（授業中の態度も含む）・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	英語学研究Ⅰ（ゼミ）を選択する学生は、本英語学概論Ⅰも選択すること。英語学ゼミ生以外の学生も不利にはならない。				
教科書	『現代の英語学』 金星堂				
参考書	初回の講義で指示する。				

## 英語英文学科

科目名	英語学概論Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／講義 2単位（選択）	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>英語学とは、英語を対象とした言語学のことである。 英語の背後に潜んでいる様々な規則性や歴史を見つけ出し、英語という言語の仕組みを明らかにしようとする幅広い研究分野を含んでいる。 英語を教える立場に立つ人や学ぶ人にとっても、役に立つ知識・理論を提供してくれる学問分野である。 本概論では各分野の中で以下の授業計画の項目について概説する。1年生前期の教養演習も思い出して欲しい。</p>				
授業計画	<p>① ガイダンス・前期の未消化部分の説明 ② アメリカ英語 ③ これからの英語 ④ 英語の歴史(1)・インド・ヨーロッパ語族 ⑤ 古英語の成立 ⑥ 古英語の文法 ⑦ 古英語の読解(1) ⑧ 古英語の読解(2)</p>		<p>⑨ 中英語の成立 ⑩ 中英語の文法 ⑪ 中英語の読解 ⑫ 英語の歴史(2)・近代英語の成立 ⑬ 近代英語の文法・大母音推移 ⑭ 初期近代英語の読解 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験</p>		
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点（授業中の態度も含む）・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する				
履修条件	英語学研究Ⅱ（ゼミ）を選択する学生は、本英語学概論Ⅱも選択すること。英語学ゼミ生以外の学生が本講義を選択しても不利にはならないよう配慮する。英語学概論Ⅰを受講しなかった人が本英語学概論Ⅱを受講してもよい。				
教科書	『現代の英語学』 金星堂				
参考書	初回の講義で指示する。				

英語英文学科

科目名	コミュニケーション学原論Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位(選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	「コミュニケーション」ということばほど、こんにちさまざまな場面で用いられ、多くのひととびとにとって馴染みのある用語はないといえる。一方、その概念の定義は多岐にわたり、まるで一義的な意味によってとらえられるのを拒んでいるかのようである。本授業では、コミュニケーションのはたらきを、たんに意味の伝達機能としてだけみるのではなく、むしろ、意味を生成させる場としての側面に焦点をあてる。わたしたちの日常生活や社会の出来事が、いかにコミュニケーション実践によっていとなまれているかを学ぶ。				
授業計画	① ガイダンス ② 古典的モデルと記号論的モデル ③ コミュニケーションを学ぶ意義 ④ コミュニケーション能力 ⑤ 新しいコミュニケーション能力 ⑥ コミュニケーションを管理する様々な条件 ⑦ コミュニケーションを管理する言説 ⑧ 隠された了解	⑨ ジェンダーとコミュニケーション ⑩ セックス/ジェンダー ⑪ コミュニケーションの場としてのメディア ⑫ 新聞記事を読む(デマに流されない) ⑬ 新聞記事を読む(フェイクニュース) ⑭ 新聞記事を読む(信じたい情報が真実) ⑮ 総復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度10%、小レポート30%、定期試験60%				
履修条件	なし				
教科書	なし				
参考書	池田理知子編著『よくわかる異文化コミュニケーション』ミネルヴァ書房				

英語英文学科

科目名	コミュニケーション学原論Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/講義 2単位(選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	「原論Ⅰ」で、コミュニケーション研究の対象が、ひろく人間や社会や文化のいとなみ(あるいは、それによって発生する問題)のなかにあることを理解してきた。前期につぎ、私たちの身の回りの出来事とコミュニケーションとの結びつきの場面を学ぶ。「原論Ⅱ」では、さらに進んでコミュニケーション研究と、伝達媒体(文字・声)の違いとの関係性について学ぶ。最後に、レトリック研究や記号論的方法によるコミュニケーション学の新しい問題系を提示する。				
授業計画	① ガイダンス ② メディアとジェンダー(新聞記事) ③ 活字メディアの変遷 ④ メディア・コミュニケーションの様々な作用 ⑤ 言語は分類(1) ⑥ 言語は分類(2) ⑦ 文字の文化、写本の文化 ⑧ 文字と活字	⑨ 口頭と文字のコミュニケーション(1) ⑩ 口頭と文字のコミュニケーション(2) ⑪ 読むことと書くこと(1) ⑫ 読むことと書くこと(2) ⑬ 自分(たち)他者との境界を作る記号 ⑭ レトリックとしての記号 ⑮ 総復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度10%、小レポート30%、定期試験60%				
履修条件	「コミュニケーション学原論Ⅰ」を履修していること。				
教科書	なし				
参考書	板場良久・池田理知子編著『よくわかるコミュニケーション学』ミネルヴァ書房				

英語英文学科

科目名	レトリック批評	配当年次 単位数	2年後期／講義 2単位 (選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	「レトリック批評」という概念は、言語的諸実践によって構築された硬直化した言説空間を、言葉の介入によって脱構築を企てるいとなみとしてとらえる。わたしたちの思考習慣は放っておかれると、定型化された思考様式に陥ってしまう傾向がある。本授業では、いわば「思考を思考する」訓練（つまり、メタレベルの実践）を行なうために、いくつかのテキスト（「本物／言葉」、「声／文字」、「視覚／聴覚」等に関する論考）を読解する。それによって、レトリック批評が、いかにコミュニケーション研究との密接な関連性を有しているかを学ぶとともに、自明視されている思考様式をクリティカルに吟味する眼を養う。				
授業計画	① ガイダンス ② レトリック批評とコミュニケーション研究 ③ 『ゲーテンベルクの銀河系』を読む(1) ④ 『ゲーテンベルクの銀河系』を読む(2) ⑤ 「本物／言葉」の対立図式の言説(1) ⑥ 「本物／言葉」の対立図式の言説(2) ⑦ 『声の文化と文字の文化』を読む(1) ⑧ 『声の文化と文字の文化』を読む(2)	⑨ 撞着的概念結合(1) ⑩ 撞着的概念結合(2) ⑪ 『テキストのぶどう畑で』を読む(1) ⑫ 『テキストのぶどう畑で』を読む(2) ⑬ 空間と時間(1) ⑭ 空間と時間(2) ⑮ 総復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度10%、小レポート30%、定期試験60%				
履修条件	なし				
教科書	なし				
参考書	授業の中で随時指定する。				

英語英文学科

科目名	現代アメリカ事情	配当年次 単位数	2年前期／講義 2単位 (選択)	担当者	古東 佐知子
授業概要	アメリカの映画やドキュメンタリー、最新のニュース映像などを通して、現代のアメリカが抱える問題や社会事情を垣間見る。具体的には公民権運動、黒人たちの文化運動、アメリカの女性運動などに関する映像、書物などを取りあげ、その裏にある文化背景やアメリカの根底にある思想について考える。また、出来るだけ『現代のアメリカ』に触れられるよう、ニュースや映画、歴史的資料など加工されていない生きた英語を読解する力も付ける。				
授業計画	① ガイダンス ② 9. 11-テロとアメリカ ③ アメリカの地域性と地域文学 ④ アメリカの移民とNew Yorkの変遷 ⑤ 大統領選挙—黒人の大統領誕生 ⑥ 都市のゲットー、ギャング映画、黒人民族主義 ⑦ アメリカの女性運動 ⑧ Jazzの時代の黒人文化	⑨ 公民権運動 ⑩ ディアスポラについて ⑪ グローバル化の中のアメリカ ⑫ 日本とアメリカ—アメリカ側から ⑬ 日本とアメリカ—日本側から ⑭ まとめ (1) ⑮ まとめ (2)			
評価方法	レポート50% 小テスト30% 授業参加20%				
履修条件	なし				
教科書	なし				
参考書					

英語英文学科

科目名	英語教育学概論	配当年次 単位数	2年前期／講義 2単位 (選択)	担当者	小島 ますみ
授業概要	本概論では、第二言語習得研究や英語教育学分野の諸議論を概観し、言語習得についての理解を深めるとともに、自らの英語学習へ応用できる力を養うことを目的とする。英語の教員には、言語習得理論や認知理論に精通し、理論に基づいた指導法を行うことが求められる。そのような理論や指導法を学ぶことは、自らの学習方法を見直し、自律的な英語学習者になることにも通じる。授業では、英語教育に関連したテーマでの英語ディベートや、受講生による模擬授業等を行うなど、実践的に展開する。				
授業計画	① ガイダンス・日本人と英語 ② 母語の影響と言語習得 ③ 年齢と言語習得 ④ 動機づけと言語習得 ⑤ 学習者要因と言語習得 ⑥ ディベート(1) ⑦ バイリンガルについて ⑧ 日本の学校英語教育	⑨ グローバル化と世界の英語政策 ⑩ ディベート(2) ⑪ さまざまな教授法(1) ⑫ さまざまな教授法(2) ⑬ 模擬授業準備 ⑭ 受講生による模擬授業(1) ⑮ 受講生による模擬授業(2) ⑯ 期末試験			
評価方法	出席状況・授業態度30%、英語ディベート30%、模擬授業15%、期末試験25%				
履修条件	特になし				
教科書	適宜資料を配布する				
参考書	大喜多喜夫著『英語教員のための応用言語学』昭和堂				

英語英文学科

科目名	現代コミュニケーション学研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位 (選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	「言語」「文化」「社会」「コミュニケーション」を鍵概念として言語と文化（あるいは言語と社会）の関係を論じていく。語られたものや書かれたものを言説としてとらえ、それが文化や社会からどのように影響を受けているのか、また反対に諸言説がどのように表象としての世界を構築していくのかを考察する。このような取り組みを通じて、メディアによる情報に毎日さらされるわたしたちが、批判的にものごとを考えていくためのメディア・リテラシーを養うことを目指す。				
授業計画	① ガイダンス ② 言語研究 ③ コミュニケーション研究(1) ④ コミュニケーション研究(2) ⑤ メディア研究(1) ⑥ メディア研究(2) ⑦ メディア研究(3) ⑧ 文献発表演習(1)	⑨ 文献発表演習(2) ⑩ 文献発表演習(3) ⑪ 文献発表演習(4) ⑫ 文献発表演習(5) ⑬ 文献発表演習(6) ⑭ 文献発表演習(7) ⑮ 文献発表演習(8) ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度及び課題等による総合評価				
履修条件	「コミュニケーション学原論Ⅰ、Ⅱ」を履修していること。「英語論文演習」を履修すること。				
教科書	なし				
参考書	授業の中で随時指定する。				

## 英語英文学科

科目名	現代コミュニケーション学研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位(選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	前期を終えて、各学生が設定したテーマによる研究構想をもとに研究発表(中間発表)をおこなう。この演習は研究の妥当性、問題点を考察して研究方法や研究対象、考察の観点を反省的にとらえて、研究を客観的に分析するプロセスとして位置づける。その後、論文を作成するための実際の方法を学び、内容を吟味しつつゼミでのディスカッションをくりかえし、論文完成を目指す。また、「コミュニケーションとは何か」を探究し批判的言説分析の方法を学ぶ。				
授業計画	① 中間発表(1) ② コミュニケーション研究関連文献読解(1) ③ 中間発表(2) ④ コミュニケーション研究関連文献読解(2) ⑤ 中間発表(3) ⑥ コミュニケーション研究関連文献読解(3) ⑦ 中間発表(4) ⑧ 論文発表(1)	⑨ コミュニケーション研究関連文献読解(4) ⑩ 論文発表(2) ⑪ コミュニケーション研究関連文献読解(5) ⑫ 論文発表(3) ⑬ コミュニケーション研究関連文献読解(6) ⑭ 論文発表(4) ⑮ 卒業論文講評 ⑯ 定期試験			
評価方法	卒業論文、授業態度及び課題等による総合評価				
履修条件	「現代コミュニケーション学研究Ⅰ」を履修していること。「レトリック批評」を履修すること。				
教科書	なし				
参考書	授業の中で随時指定する。				

## 英語英文学科

科目名	アメリカ文学研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位(選択)	担当者	古東 佐知子
授業概要	アメリカ文学や文化を対象とする批評を読解することによって、物事をクリティカルに捉え、考えを主張する力を養う。具体的に、ポストコロニアルや人種、文化に関する英語の文学批評をとりあげる。一見何気ないことが描かれているように見えるアメリカ文学においても、深く考えるとそこには様々な文化事象が横たわっていることを理解する。アメリカの小説をとりあげながら、参加者が独自の見解を論理的に展開できるようになることが目標である。				
授業計画	① ガイダンス ② 専門文献の読解(1) ③ 専門文献の読解(2) ④ 専門文献の読解(3) ⑤ 専門文献の読解(4) ⑥ 専門文献の読解(5) ⑦ 専門文献の読解(6) ⑧ 専門文献の読解(7)	⑨ 専門文献の読解(8) ⑩ 小説の読解・批評(1) ⑪ 小説の読解・批評(2) ⑫ 小説の読解・批評(3) ⑬ 小説の読解・批評(4) ⑭ 卒論準備・文献研究(1) ⑮ 卒論準備・文献研究(2)			
評価方法	課題・発表70% 授業参加30%				
履修条件	「アメリカ文学講読Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。「現代アメリカ事情」もあわせて受講すること				
教科書					
参考書					

## 英語英文学科

科目名	アメリカ文学研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位 (選択)	担当者	古東 佐知子
授業概要	後期はアメリカ文学・文化に関する卒論（英語）の作成に取り掛かる。初めに、英語論文の書き方を（引用の仕方、論理的な論文構成、フォーマットなど）を確認する。同時に、学生は夏休みから引き続き、アメリカ文学の小説など英語で書かれた書物を各自で読み進め、卒論での分析に備える。授業ではそれぞれのテーマに沿った論文や批評を選び、それについて自らの観点で発表をおこなう。集大成として完成させる卒業論文は、下書きをした後、個別指導をとおして内容を吟味する。修正をくり返した後、最終的な卒論を完成させる。提出後には卒論発表会を行い、研究内容を発表する。				
授業計画	① 中間発表 ② 英語論文の書き方(1) ③ 英語論文の書き方(2) ④ 英語論文の書き方(3) ⑤ 英語論文の書き方(4) ⑥ 文献研究（英語）(1) ⑦ 文献研究（英語）(2) ⑧ 文献研究（英語）(3)	⑨ 文献研究（英語）(4) ⑩ 文献研究（英語）(5) ⑪ 文献研究（英語）(6) ⑫ 卒論個別指導(1) ⑬ 卒論個別指導(2) ⑭ 卒論個別指導(3) ⑮ 卒論個別指導(4)			
評価方法	卒論70% 発表30%				
履修条件	「アメリカ文学研究Ⅰ」を履修していること				
教科書					
参考書					

## 英語英文学科

科目名	イギリス文学研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位 (選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	イギリス文学・文化に関する学術論文を書くために必須のリサーチスキルの習得を目指す。授業で学んだスキルの実践を通して、論文のテーマ、大まかなアウトラインを決めていく。毎回の授業は、卒業論文テーマとその内容を決めていくためのステップについての説明と受講者によるその実践(各自の発表)をメインに進めていく。イギリス文学を研究するステップを踏んでいくことを通じて、解決すべき問題点とその解決法を見つけ、それを分かりやすく、論理的に、説得力を持って相手に伝える力を習得する。				
授業計画	① 文学研究とは(1) ② 文学研究とは(2) ③ 研究トピック ④ トピックについての基礎知識(1) ⑤ トピックについての基礎知識(2) ⑥ 情報収集・文献検索(1) ⑦ 情報収集・文献検索(2) ⑧ 先行研究調査(1)	⑨ 先行研究調査(2) ⑩ 先行研究調査(3) ⑪ 先行研究調査(4) ⑫ 研究テーマ・アウトライン ⑬ 研究計画書の作成について ⑭ 研究計画発表(1) ⑮ 研究計画発表(2)			
評価方法	授業姿勢（10%）、発表・授業課題など（50%）、研究計画書（40%）				
履修条件	「イギリス文学史」も合わせて履修すること				
教科書	適宜、プリントなどの教材を配布する。				
参考書	Booth, W. C., G. G. Colomb, and J. M. Williams. <i>The Craft of Research</i> . 3rd Ed. Chicago: University of Chicago Press, 2008.				

英語英文学科

科目名	イギリス文学研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位(選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	前期に決めた論文のテーマとアウトラインをもとに、論文の執筆を進めていく。授業は、受講者による研究経過発表が主体となる。また、学術論文を書く上で知っておかなければならないことについての説明も行う。最終的に8,000字程度(英語の場合は3,000語程度)の卒業論文を完成させることを目標とする。イギリス文学・文化に関する学術論文を書くステップを踏んでいくことを通じて、解決すべき問題点とその解決法を見つけ、それを分かりやすく、論理的に、説得力を持って相手に伝える力を習得する。				
授業計画	① ガイダンス・夏休みの成果報告 ② 注の付け方、引用の仕方について ③ 研究経過報告(1) ④ 研究経過報告(2) ⑤ 研究経過報告(3) ⑥ 研究経過報告(4) ⑦ 序論／結論の書き方 ⑧ 研究経過報告(5)		⑨ 研究経過報告(6) ⑩ 研究経過報告(7) ⑪ 研究経過報告(8) ⑫ 卒業論文書式の確認 ⑬ 論文添削(1) ⑭ 論文添削(2) ⑮ 卒業論文提出・まとめ		
評価方法	授業姿勢(10%)、発表・授業課題など(30%)、卒業論文(60%)				
履修条件	前期に「イギリス文学研究Ⅰ」を履修していること。「イギリス文化論」も合わせて履修すること。				
教科書	適宜、プリントなどの教材を配布する。				
参考書	Gibaldi, Joseph. <i>MLA Handbook for Writers of Research Papers</i> . New York: MLA, 2009.				

英語英文学科

科目名	英語学研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位(選択)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	英語学のいくつかの分野を掘り下げ研究する。最終的には、各自がテーマを見出し、研究し、英語学研究Ⅱ(ゼミ・後期)で卒業論文として体系化しまとめることを目標とする。教養演習や英文法Ⅰ・Ⅱでも述べたように、普通の英語を、読み、聞き、書き、話すために知っておくべき決まりを「学校文法」と言い、中学校+高等学校卒業までの「英文法」のことを言う。大雑把に言って、その元になっている学問分野に「伝統文法」と呼ばれる学問成果がある。折に触れ、これらの確認を行う。ある言語に属するすべての文法的な文を作り出し、非(文法的)文を作り出さない体系である文法という装置の解明と、なぜ人はそういう装置(言語知識)を獲得できるのかの解明を目指す「生成文法」という理論もある。「生成文法」のあらましから「統語論」「形態論」「意味論」「音韻論」を中心に、できる限り最新の理論までを勉強する。「英語史」を知っていると、教師として生徒の間違いに押しやりをもって対処でき、柔軟で幅広い言語観が持てる。ドイツ語・フランス語・日本語などとの「比較研究」も有意義である。この面の研究も行う。正規の授業に加え、毎週1コマの勉強会(参加は任意)、春休み・夏休み中の集中勉強会を通し、ゲルマン語派(ドイツ語など)とイタリアック語派(フランス語などラテン語系)のミックスした、英語という言語の特質の感得を目指す。特に一般に難解と言われる「接続法」の理解・習熟と、上記「生成文法」の理論追究には、プラスアルファの勉強会も活用して大いに勉強していく。卒論は英語学のどの項目(英語学概論Ⅰ・Ⅱで述べること、英文法Ⅰ・Ⅱで学習したこと、本ゼミで言及する内容やテーマ、その他)について研究しまとめてよいが、本ゼミの教材では、上記「かぎかっこ内」のような英語学のいくつかの重要分野への焦点化をはかり、各自掘り下げていけるよう進めていく。ゼミを決める際に学科で配布した、『ゼミナール紹介』シラバスも参照すること。				
授業計画	① 参考文献(自力で探し出せるよう説明する)。 ②～⑪ 英語史・生成文法・ドイツ語・伝統文法の知識の吸収・研究。フランス語・ドイツ語など		の比較研究。統語論・形態論を中心に。 ⑫～⑭ 音韻論・意味論・語用論の研究。 ⑮ まとめ・今後の指示。		
評価方法	単位の概念を踏まえ、平常点(授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	本ゼミを選択する学生は、英語学概論Ⅰも選択すること。本ゼミを選択する学生は、後期に英語学研究Ⅱ(ゼミ)、英語学概論Ⅱを選択すること。				
教科書	初回の授業時に指示する。				
参考書	授業の際、適宜指示する。英語学に関するものすべてが参考書である。				

## 英語英文学科

科目名	英語学研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位（選択）	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>英語学研究Ⅰから引き続く。英語学のいくつかの分野を掘り下げ研究し、卒業論文として体系化しまとめることを目標とする。</p> <p>研究対象・資料としては、古英語から現代英語に至るあらゆる文学作品から時事英語・日常会話まで（「受験英語」も含め）すべての英語が値する。卒論の様式は、英文の場合、A4 65ストローク 25行 15枚程度。和文の場合、A4 35文字 34行 7枚程度以上。400字詰原稿用紙で15～20枚程度。</p> <p>今までのテーマの一部：「時代の中の関係代名詞」「前置詞使用頻度上位8語について」「接辞と語源的意味について」「古英語について」「映画『マイ・フェア・レディ』に見るコックニー英語」などである。</p> <p>正規の授業に加え、毎週1コマの勉強会（参加は任意）を通し、ゲルマン語派（ドイツ語など）とイタリアック語派（フランス語などラテン語系）のミックスした、英語という言語の特質の感得や、生成文法理論追究を目指す。フィロロジーとリングイスティックスの両面から英語学に取り組む姿勢を身につける。ゼミを決める際に学科で配布した『ゼミナール紹介』シラバスも参照すること。</p>				
授業計画	① 前期の総復習・夏期休業中の学習の点検・確認		⑫⑬ まとめ		
	②～⑪ 比較文法（古英語・中英語・近代英語・ドイツ語・フランス語・日本語など）・生成文法		⑭⑮ 仕上げ・卒論完成		
評価方法	単位の概念を踏まえ、卒業論文・平常点（授業中の態度も含む）・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	本ゼミを選択する学生は、英語学概論Ⅱも選択すること。前期英語学研究Ⅰ（ゼミ）からの継続受講者に限る。				
教科書	初回の授業時に指示する。（基本的に前期からのものを継続使用する。）				
参考書	授業の際適宜指示する。英語学に関するものすべてが参考書である。				

## 英語英文学科

科目名	英語習得研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位（選択）	担当者	小島 ますみ
授業概要	<p>このゼミでは、人間がどのように言語を習得するのか、習得を促進・阻害する要因は何か、またどのように理論や研究成果と学習・教授実践を結びつけるのかについて探求する。まず、英語教育学、第二言語習得研究分野の文献読解・討議をとおし、研究課題の設定のしかた、リサーチのデザインのしかたについて学ぶ。また、受講生各自が選んだ文献のレビューを行い、内容の討議を行う。前期の目標は、各自が卒業論文の研究テーマをみずからの力で設定することである。</p>				
授業計画	① ガイダンス		⑨ 文献研究(3)		
	② 専門文献の読解(1)		⑩ 文献研究(4)		
	③ 専門文献の読解(2)		⑪ 文献研究(5)		
	④ 専門文献の読解(3)		⑫ 文献研究(6)		
	⑤ 専門文献の読解(4)		⑬ 文献研究(7)		
	⑥ 専門文献の読解(5)		⑭ 卒論の構想発表(1)		
	⑦ 文献研究(1)		⑮ 卒論の構想発表(2)		
	⑧ 文献研究(2)		⑯ 卒論の構想発表(3)		
評価方法	出席状況・授業態度50%、課題等 50%				
履修条件	後期に「英語習得研究Ⅱ」を履修すること。				
教科書	適宜資料を配布する				
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する。				

英語英文学科

科目名	英語習得研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位 (選択)	担当者	小島 ますみ
授業概要	このゼミでは、人間がどのように言語を習得するのか、習得を促進・阻害する要因は何か、またどのように理論や研究成果と学習・教授実践を結びつけるのかについて探求する。まず、前期終了時に設定したテーマによる研究構想をもとに、卒業論文の中間報告を行う。また、卒業論文テーマと関連の深い文献をレビューし、参加者全員で討議を行う。並行して、卒業論文のための文献調査、データ収集・分析を行う。前期、後期をとおして取り組んできたテーマをもとに、卒業論文を完成させることが、後期の目標である。				
授業計画	① ガイダンス (論文の書き方) ② 専門文献の読解 ③ 文献研究(1) ④ 文献研究(2) ⑤ 文献研究(3) ⑥ 文献研究(4) ⑦ 文献研究(5) ⑧ 文献研究(6)	⑨ 文献研究(7) ⑩ 文献研究(8) ⑪ 論文作成指導(1) ⑫ 論文作成指導(2) ⑬ 論文作成指導(3) ⑭ 論文作成指導(4) ⑮⑯ 総括・卒業論文集の完成			
評価方法	出席状況・授業態度40%、卒業論文60%				
履修条件	前期に「英語習得研究Ⅰ」を履修すること。				
教科書	適宜資料を配布する。				
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する。				

英語英文学科

科目名	アメリカ社会研究Ⅰ	配当年次 単位数	2年前期／演習 2単位 (選択)	担当者	コットン ランダル
授業概要	One goal of this course is to give students some insights into American society today by studying various current issues and discussing how these issues affect the everyday life of Americans. Readings and discussions will focus on the historical background behind important issues, as well as how politics influences these issues. Each year, topics vary, depending on current events and the interests of students. Another goal of the course is to improve skills for collecting and using information in research essays. As all of the readings, writing, and discussions will be done only in English, students who take this seminar need to have an <i>intermediate to high level</i> of reading and writing skills.				
授業計画	① Course introduction [ <i>Spring vacation homework due</i> ] ② Issues in American society: Topic I (Part 1) ③ Issues in American society: Topic I (Part 2) ④ Student presentations ⑤ Writing workshop: Using outside sources (Part 1) ⑥ Issues in American society: Topic II (Part 1) ⑦ Issues in American society: Topic II (Part 2) ⑧ Student presentations	⑨ Writing workshop: Using outside sources (Part 2) ⑩ Student presentations ⑪ Issues in American society: Topic III (Part 1) ⑫ Issues in American society: Topic III (Part 2) ⑬ Writing workshop: Essay development ⑭ Writing workshop: Citing information ⑮ Writing conferences ⑯ First-semester report due			
評価方法	Participation (40%); Written assignments (30%); First-semester report (30%)				
履修条件	1年次に「アカデミック・イングリッシュⅠ・Ⅱ」を受講して、論文を書くのに十分な英作能力を持っていることが望ましい。				
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。				
参考書					

英語英文学科

科目名	アメリカ社会研究Ⅱ	配当年次 単位数	2年後期／演習 2単位 (選択)	担当者	コットン ランダル
授業概要	In the second half of the course, students will continue reading and writing about various current issues concerning U.S. society; however, one main topic will be used for reading, discussion, and writing. The aim is to read different sources of information about one topic and explore various sides of that topic. Students will begin doing their own research by gathering information about the topic and synthesizing the information. Through examples and practices, students will continue to improve skills for writing longer essays. These longer essays will be developed into their final report for the course. During the final part of the course, students will work independently to complete their final reports in English. Regular teacher/student writing conferences will be held to aid students in their research and improve their writing.				
授業計画	① Writing conferences ② Issues in American society: Topic IV (Part 1) ③ Issues in American society: Topic IV (Part 2) ④ Issues in American society: Topic IV (Part 3) ⑤ Writing workshop: Report organization ⑥ Writing workshop: Topic selection & Thesis development ⑦ Student presentations ⑧ Writing conferences	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	Independent research & writing of graduation project. Teacher-student writing conferences regularly held to help students complete their Graduation Research Report.		
評価方法	Participation (40%); Written assignments (30%); First-semester report (30%)				
履修条件	「アメリカ社会研究Ⅰ」を受講すること。				
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。				
参考書					

英語英文学科

科目名	ライティングⅠ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位 (必修)	担当者	中西 満貴典
授業概要	本授業では、「3行英文ライティング」という演習方式による、センテンス・レベルのライティングからパラグラフ・レベルのライティングへの橋渡しをすることを目標にする。また、テキストを用いた演習のほか、平易な英単語を英語で定義された表現の習得や、日本人が不得意とする基本動詞の多様な使用例の実際を学ぶ。また、DVD映像を利用し、視聴覚を活発にはからかせる英語表現の学習も導入し、英文を書く学習を楽しくおこなう工夫をくわえる。				
授業計画	① ガイダンス ② Weather (進行形) ③ DVD演習(1) ④ The Four Seasons (未来形) ⑤ DVD演習(2) ⑥ Everyday Life (助動詞1) ⑦ DVD演習(3) ⑧ Campus Life (1) (助動詞2)	⑨ DVD演習(4) ⑩ Campus Life (2) (受動態) ⑪ DVD演習(5) ⑫ Shopping (比較) ⑬ DVD演習(6) ⑭ Eating Out (不定詞) ⑮ 総復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度20%、定期試験80%				
履修条件	なし				
教科書	<i>Three-line Writing in English</i> , SEIBIDO				
参考書	なし				

英語英文学科

科目名	ライティングⅡ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	中西 満貴典
授業概要	<p>「ライティングⅠ」につづいて、「3行英文ライティング」演習によって、パラグラフ・レベルのライティングの基礎訓練をおこなう。学習の基本的な方式は前期と同様であるが、新たに映画(英米)を用いた英語表現の習得をめざす。字幕を日本語⇄英語と切りかえて、一般的によく使用される表現がみられる台詞に注目し、それらがどのようなコンテキストで用いられているかを学ぶ(リスニングの訓練もかねて)。</p>				
授業計画	① Music(現在完了) ② 映画演習(1) ③ Television and Radio(分詞) ④ 映画演習(2) ⑤ Methods of Communication(動名詞) ⑥ 映画演習(3) ⑦ Methods of Transportation(前置詞) ⑧ 映画演習(4)	⑨ Traveling Overseas(間接疑問文) ⑩ 映画演習(5) ⑪ Health and Exercise(接続詞) ⑫ 映画演習(6) ⑬ A Stay in Hawaii(関係代名詞) ⑭ A Home Stay in Auckland, New Zealand(関係副詞) ⑮ 総復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度20%、定期試験80%				
履修条件	なし				
教科書	<i>Three-line Writing in English</i> , SEIBIDO				
参考書	なし				

英語英文学科

科目名	ライティングⅢ	配当年次 単位数	2年前期/演習 1単位(必修)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>語の語順や文構造に関する知識を一層確実なものにしなが、日常の様々な事柄を英語で表現できるようにする。                  英作文は英借文である。借りてくる元になる正しい英文を定着させ増やすため、基本的に、毎時間暗唱テストを行う。                  4年制大学3年次編入学試験問題も、時間のゆとりを見つけて行う。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② 5文型(1) ③ 5文型(2) ④ 進行形(1) ⑤ 進行形(2) ⑥ 助動詞(1) ⑦ 助動詞(2) ⑧ 受動態(1)	⑨ 受動態(2) ⑩ 比較(1) ⑪ 比較(2) ⑫ 完了時制(1) ⑬ 完了時制(2) ⑭ まとめ ⑮ Review Test ⑯ 定期試験			
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点(授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	開講時に説明する。				
教科書	<i>Let's Write</i> Asahi Press				
参考書	初回の授業で指示する。				

## 英語英文学科

科目名	ライティングⅣ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位(必修)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>英語の語順や文構造に関する知識を一層確実なものにしなが、日常の様々な事柄を英語で表現できるようにする。</p> <p>英作文は英借文である。借りてくる元になる英文を定着させ増やすため、基本的に、毎時間暗唱テストを行う。自由英作文も書いてもらう。</p> <p>4年制大学3年次編入学試験問題も、時間のゆとりを見つけて行う。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② 不定詞(1) ③ 不定詞(2) ④ 現在分詞と過去分詞(1) ⑤ 現在分詞と過去分詞(2) ⑥ 動名詞(1) ⑦ 動名詞(2) ⑧ 関係代名詞(1)	⑨ 関係代名詞(2) ⑩ 関係副詞(1) ⑪ 関係副詞(2) ⑫ 接続詞(1) ⑬ 接続詞(2) ⑭ まとめ ⑮ Review Test ⑯ 定期試験			
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点(授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	開講時に説明する。				
教科書	<i>Let's Write</i> Asahi Press				
参考書	初回の授業で指示する。				

## 英語英文学科

科目名	英文法Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位(必修)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	<p>TOEIC 530点突破を目標(英検2級合格は当然の目標)に、学校文法の総整理をする。</p> <p>英文法の説明や問題演習を行ないながら、TOEICの文法問題の出題形式に習熟していく。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② 5文型 ③ 接続詞 ④ 関係詞(1) ⑤ 関係詞(2) ⑥ 語形(1) ⑦ 語形(2) ⑧ 前置詞(1)	⑨ 前置詞(2) ⑩ 副詞(1) ⑪ 副詞(2) ⑫ 比較(1) ⑬ 比較(2) ⑭ まとめ ⑮ Review Test ⑯ 定期試験			
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点(授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	開講時に説明する。				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	初回の授業で指示する。高等学校で使用した英語の辞書・参考書類は廃棄せず、家で利用すること。				

英語英文学科

科目名	英文法Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(必修)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	TOEIC 530点突破を目標(英検2級合格は当然の目標)に、学校文法の総整理をする。英文法の説明や問題演習を行ないながら、TOEICの文法問題の出題形式に習熟していく。前期に行なった項目以外の学校英文法の項目を総復習する。				
授業計画	① ガイダンス ② 時制(1) ③ 時制(2) ④ 動詞の用法・不定詞・動名詞(1) ⑤ 動詞の用法・不定詞・動名詞(2) ⑥ 人称代名詞(1) ⑦ 人称代名詞(2) ⑧ 名詞・冠詞(1)	⑨ 名詞・冠詞(2) ⑩ 分詞(1) ⑪ 分詞(2) ⑫ 主語と動詞の一致・語順(1) ⑬ 主語と動詞の一致・語順(2) ⑭ まとめ ⑮ Review Test ⑯ 定期試験			
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点(授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	開講時に説明する。				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	初回の授業で指示する。高等学校で使用した英語の辞書・参考書類は廃棄せず、家で利用すること。				

英語英文学科

科目名	オーラル・イングリッシュⅠ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位(必修)	担当者	小島 ますみ
授業概要	英語のコミュニケーション能力、特にリスニング力の伸長に重点を置く。CALL 教室でビデオ・音声教材を使用し、アメリカ社会の現実を浮き彫りにした映画を題材に、アメリカ文化や社会事情の理解と実用的な英語表現の習得を図る。また、テーマに関して興味を持ったことを調べ、英語で発表を行う。アメリカの社会問題と日本社会を比較することで、アメリカ社会に対する理解を深めるとともに、自国の社会についても再認識し、自分で考えたことを英語で発表できる力を付ける。				
授業計画	① ガイダンス、自己紹介 ② 自己紹介 ③ Unit 2: You' ve Got M@il ④ Unit 2: グループ発表 ⑤ Unit 2: Reflection ⑥ Unit 3: Stepmom ⑦ Unit 3: グループ発表 ⑧ Unit 3: Reflection	⑨ Unit 5: Working Girl ⑩ Unit 5: グループ発表 ⑪ Unit 5: Reflection ⑫ Unit 7: John Q. ⑬ Unit 7: グループ発表 ⑭ Unit 7: Reflection ⑮ Review ⑯ 期末試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、課題30%、小テスト20%、期末試験30%				
履修条件					
教科書	『American Society in Focus』 Macmillan Languagehouse				
参考書					

英語英文学科

科目名	オーラル・イングリッシュⅡ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位（必修）	担当者	古東 佐知子
授業概要	英語コミュニケーション能力、特にリスニングとスピーキングの向上を目指す。CALL 教室において、英語の歌や、「アメリカの日常」をドラマにした映像を使用し、生きた英語を聞き取るリスニング力を向上させる。またクラスメートへのインタビューや、英語のスピーチなどのアクティビティを通じ英語の output ができるように練習する。毎回授業の初めに、5 名程度の学生に 2～3 分のスピーチと質疑応答（英語）を行ってもらふ。授業は極力英語で行う。				
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 Introducing Yourself ③ Unit 2 Introducing Someone Else ④ Unit 3 Asking for and Giving Advice ⑤ Unit 4 Describing Family Members ⑥ Unit 5 Talking about Problems ⑦ Unit 6 Looking for Work ⑧ Review		⑨ Unit 7 Ordering Food at a Restaurant ⑩ Unit 8 Shopping at a Boutique ⑪ Unit 9 Leisure Activities ⑫ Unit 10 Planning a Party ⑬ Unit 11 Understanding Classified Ads ⑭ Unit 12 Explaining Well-known Places ⑮ Pronunciation Practice ⑯ 期末試験		
評価方法	期末試験 40%      スピーチ 30%      課題・授業参加 30%				
履修条件					
教科書					
参考書					

英語英文学科

科目名	オーラル・イングリッシュⅢ	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位（選択）	担当者	古東 佐知子
授業概要	アメリカの主要都市・地域を映した映像をもとに、現地の人々のインタビュー、レポート、会話を通して加工されていないネイティブの英語を聞き取る力を身につける。また、アカデミックな環境においてコミュニケーションできる能力を向上させることも目指す。そのため毎回の授業でオーラル・プレゼンテーションの技術を習い、学期末には一人あたり 5 分程度のリサーチ・プレゼンテーション（英語）を行う。授業は基本的に英語で行う。				
授業計画	① Introduction ② Unit 1. New York ③ Unit 2. Boston ④ Unit 3. Small Towns ⑤ Unit 4. Yellowstone ⑥ Unit 5. Las Vegas ⑦ Unit 6. Los Angeles ⑧ Unit 7. Seattle		⑨ Unit 8. Maui ⑩ Unit 9. Street Performers ⑪ Unit 10. The American Dream ⑫ Unit 11. Work ⑬ Preparation for the Presentation ⑭ Presentation in English ⑮ Presentation in English ⑯ Exam		
評価方法	英語プレゼン 40%      期末試験 30%      授業参加 30%				
履修条件					
教科書	Todd Rucynski & Scott Berlin, <i>Experience America: Authentic DVD English Language Text</i> (金星堂)				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	オーラル・イングリッシュⅣ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位 (選択)	担当者	古東 佐知子
授業概要	この授業では、毎回ニュース映像を視聴し、英語のコミュニケーション力にとどまらず、実際の英語運用に必要な知識・問題意識も身につける。また、プレゼン、ディベート、スピーチなどの活動を通し、社会で実際に起きている事象について、自らの英語で意見を発信する力を養う。英語のニュースや、公開されているプレゼンを視聴することによって、論理立てて英語で話すことの重要性を学ぶ。				
授業計画	① Introduction ② Unit 1. Education and Gender ③ Unit 2. Global Warming ④ Understanding English Presentations ⑤ Unit 3. Drinking Water ⑥ Unit 4. Poverty and Hunger ⑦ Group Discussion ⑧ Unit 5. Fighting Disease		⑨ Unit 6. Terrorism ⑩ Panel Discussion ⑪ Unit 7. Atomic Weapons ⑫ Debate ⑬ Preparation for the Presentation ⑭ Presentation in English ⑮ Presentation in English ⑯ Exam		
評価方法	英語プレゼン40% 期末試験30% 授業参加30%				
履修条件					
教科書	『Global Issues Toward Peace DVD で学ぶ共存社会—グローバル時代を考える』(南雲堂)				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	リーディングⅠ	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位 (必修)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	「英文を速く読む」という力を身につけることを目標とする。この授業では、時間や1分あたりに読むことのできるスピードを強く意識しながら速読の訓練を行う。併せて、復習語彙テストを行い、英文読解に不可欠な語彙力の訓練も行い、英文読解力を高めていく。				
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 1～3語彙テスト・Unit 4 ⑥ Unit 5 ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 4～6語彙テスト・Unit 7		⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 ⑪ Unit 7～9語彙テスト・Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Unit 10～12語彙テスト・Mini-Test ⑮ 総合演習 ⑯ 期末試験		
評価方法	授業姿勢(20%)、語彙テスト(20%)、期末試験(60%)				
履修条件					
教科書	是近成子、上仲律子、Practical Reading Skills for the TOEIC Test、成美堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	リーディングⅡ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(必修)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	この授業では、中級レベルの英文読解能力の養成を目指す。様々なジャンル、パターンの英文を読むことを通じて、英文を読む際に役立つテクニック・スキルを習得していく。毎回の授業ではテキストのユニットを1つずつ進めていくが、予習を前提としているので、受講者は各回の授業で扱うユニットの文章を読み、テキストの課題を解いておくことが求められる。受講者の希望に合わせて、様々な形式の読解問題演習も、時間の許す限り行う予定である。				
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 4 ⑥ Unit 5 ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 7・Unit 4～6 語彙テスト	⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 ⑪ Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Unit 13 ⑮ Unit 14 ⑯ 期末試験			
評価方法	授業姿勢(20%)、期末試験(80%)				
履修条件					
教科書	Osamu Takeuchi, et al. <i>Reading Stream: Intermediate</i> , 金星堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	リーディングⅢ	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位(選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	この授業では、上級レベルの英文読解能力の養成を目指す。政治や歴史など大きなテーマから、ごく日常的话题に至るまで、様々な話題を扱った文章を読むことにより、読解力の向上を目指す。また、合わせて、これからの時代を生きていくために必要な幅広い視点を養うことも目指す。授業では3回につき1つずつLessonを丁寧に読む。読む英文の難易度がかなり高いので、解説に時間をかけながら進めていく。				
授業計画	① ガイダンス ② Lesson 1(1) ③ Lesson 1(2) ④ Lesson 2(1) ⑤ Lesson 2(2) ⑥ Lesson 3(1) ⑦ Lesson 3(2) ⑧ Lesson 4(1)	⑨ Lesson 4(2) ⑩ Lesson 5(1) ⑪ Lesson 5(2) ⑫ Lesson 6(1) ⑬ Lesson 6(2) ⑭ Lesson 7(1) ⑮ Lesson 7(2) ⑯ 期末試験			
評価方法	授業姿勢(30%)、期末試験(70%)				
履修条件					
教科書	Jim Knudsen, Yoshihiro Nagamoto, <i>A World of Ideas: Active Reading for Global Awareness</i> . 南雲堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	リーディングⅣ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位 (選択)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	リーディングⅢに引き続き、上級レベルの英文読解能力の養成を目指す。政治や歴史など大きなテーマから、ごく日常的话题に至るまで、様々な話題を扱った文章を読むことにより、読解力の向上を目指す。また、合わせて、これからの時代を生きていくために必要な幅広い視点を養うことも目指していきたい。授業では受講者が興味を持ったトピックを6つ選び、2回の授業で1つずつLessonを読み進めていく。予習を前提として進めるので、受講者は指定された箇所を事前に読み、問題を解いておくことが求められる。				
授業計画	① ガイダンス ② 1つ目のLesson (1) ③ 1つ目のLesson (2) ④ 2つ目のLesson (1) ⑤ 2つ目のLesson (2) ⑥ 3つ目のLesson (1) ⑦ 3つ目のLesson (2) ⑧ 4つ目のLesson (1)	⑨ 4つ目のLesson (2) ⑩ 5つ目のLesson (1) ⑪ 5つ目のLesson (2) ⑫ 6つ目のLesson (1) ⑬ 6つ目のLesson (2) ⑭ 7つ目のLesson (1) ⑮ 7つ目のLesson (2) ⑯ 期末試験			
評価方法	授業姿勢 (30%)、期末試験 (70%)				
履修条件	前期にリーディングⅢを履修していることが望ましい。				
教科書	Jim Knudsen, Yoshihiro Nagamoto, <i>A World of Ideas: Active Reading for Global Awareness</i> . 南雲堂				
参考書					

英語英文学科

科目名	英会話A I	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位 (必修)	担当者	コットン ランダル
授業概要	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.				
授業計画	① Orientations / Introduction to conversation strategies ② Unit 1 (Part 1): Getting acquainted ③ Unit 1 (Part 2): Majors, school years, and clubs ④ Unit 1 (Part 3): Golden Rule #1 / Part-time jobs ⑤ Unit 1 Review / Golden Rule #2 / Quiz ⑥ Unit 2 (Part 1): Daily routines ⑦ Unit 2 (Part 2): Hardest / easiest days of the week ⑧ Unit 2 (Part 3): Daily activities / Golden Rule #3	⑨ Quiz / Speaking Test #1 ⑩ Unit 3 (Part 1): Hometown attractions ⑪ Unit 3 (Part 2): Hometown likes & dislikes ⑫ Unit 3 (Part 3): Where to live in the future ⑬ Quiz / Unit 4 (Part 1): Travel experiences ⑭ Unit 4 (Part 2): Future travel ideas ⑮ Unit 4 (Part 3): Planning a trip ⑯ Quiz / Speaking Test #2			
評価方法	Participation (20%) ; Vocabulary quizzes & homework (30%) ; Speaking tests (50%)				
履修条件					
教科書	<i>Conversations in Class</i> (3rd Ed), by Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.				
参考書	<a href="http://www.cic-multimedia.com/">http://www.cic-multimedia.com/</a>				

英語英文学科

科目名	英会話A II	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(必修)	担当者	コットン ランダル
授業概要	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. Students will understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. Students will also spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.				
授業計画	① Orientation / Review of units 1-4 ② Unit 5 (Part 1): Talking about breaks ③ Unit 5 (Part 2): Free time activities ④ Unit 5 (Part 3): Current & future hobbies ⑤ Quiz / Unit 6 (Part 1): Music ⑥ Unit 6 (Part 2): Movies ⑦ Unit 6 (Part 3): TV, reading and games ⑧ Quiz / Speaking Test #3		⑨ Unit 7 (Part 1): Recent meals ⑩ Unit 7 (Part 2): Food likes & dislikes ⑪ Unit 7 (Part 3): Exotic foods & eating out ⑫ Quiz / Unit 8 (Part 1): Five years later ⑬ Unit 8 (Part 2): Discussing life issues ⑭ Unit 8 (Part 3): Dream jobs ⑮ Review of units 5-8 ⑯ Quiz / Speaking Test #4		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)				
履修条件	「英会話AI」を受講すること。				
教科書	<i>Conversations in Class</i> (3rd Ed), by Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.				
参考書	<a href="http://www.cic-multimedia.com/">http://www.cic-multimedia.com/</a>				

英語英文学科

科目名	英会話B I	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位(選択)	担当者	ジュリアン ナット
授業概要	This course focuses on teaching the listening and speaking strategies needed for students to develop meaningful conversations in English.				
授業計画	① Orientation ② Class album ③ Favorite photos ④ Personal goals ⑤ Believe it or not ⑥ Where I grew up ⑦ Bargain shopper ⑧ Review		⑨ The perfect gift ⑩ Party planner ⑪ Music profile ⑫ Style makeover ⑬ Honesty ⑭ Making things better ⑮ Review ⑯ Examination		
評価方法	Continuous Assessment 50%, Final Exam 50%				
履修条件					
教科書	Heinle Cengage Learning: Active Skills for Communication, Book 1; Sandy, Kelly, Anderson				
参考書					

英語英文学科

科目名	英会話B II	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位 (選択)	担当者	ジュリアン ナット
授業概要	Students will be encouraged to further develop the skills learnt in the previous semester and to become more confident in communicating in English.				
授業計画	① Orientation ② Class Facebook ③ Personal motto ④ Tall tales ⑤ Keepsakes ⑥ Team spirit ⑦ Hot spots ⑧ Review		⑨ Class cookbook ⑩ Business venture ⑪ Job interview ⑫ TV preview ⑬ Public opinion ⑭ Mini debate ⑮ Review ⑯ Examination		
評価方法	Continuous Assessment 50%, Final Exam 50%				
履修条件					
教科書	Heinle Cengage Learning; Active Skills for Communication, Book 2; Sandy, Kelly, Anderson				
参考書					

英語英文学科

科目名	英会話A III	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位 (必修)	担当者	コットン ランダル
授業概要	The goal of this class is to help students become better at speaking English naturally. This will be done through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.				
授業計画	① Course orientation / First year review ② Unit 1: What kind of person are you? ③ Unit 1: How have you changed? ④ Unit 2: Getting around ⑤ Unit 2: Indirect questions ⑥ Quiz / Speaking Test ⑦ Unit 3: Living spaces ⑧ Unit 3: Wishes		⑨ Unit 4: Unusual experiences ⑩ Unit 4: Your best dish ⑪ Quiz / Speaking Test ⑫ Unit 5: Vacation plans ⑬ Unit 5: Travel advice ⑭ Unit 6: Household chores ⑮ Unit 6: Making requests ⑯ Quiz / Speaking Test		
評価方法	Participation (20%); Quizzes & assignments (40%); Speaking tests (40%)				
履修条件	「英会話A II」を受講すること。				
教科書	<i>Interchange 2</i> (5th ed.) by Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge.				
参考書					

英語英文学科

科目名	英会話AⅣ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位(必修)	担当者	コットン ランダル
授業概要	In the second semester, students continue practicing to become better at speaking English naturally. This will be done through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.				
授業計画	① Unit 7: Computers and daily life ② Unit 7: Making suggestions ③ Unit 8: Celebrations ④ Unit 8: Marriage customs ⑤ Quiz / Speaking Test ⑥ Unit 9: How things have changed ⑦ Unit 9: Consequences ⑧ Unit 10: Expressing preferences		⑨ Unit 10: Finding the right job ⑩ Quiz / Speaking Test ⑪ Unit 11: Remarkable places ⑫ Unit 11: Guess the country ⑬ Unit 12: Unexpected happenings ⑭ Unit 12: What would you do? ⑮ Quiz / Review ⑯ Final Speaking Test		
評価方法	Participation (20%); Quizzes & assignments (40%); Speaking tests (40%)				
履修条件	「英会話AⅢ」を受講すること。				
教科書	<i>Interchange 2</i> (5th ed.) by Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge.				
参考書					

英語英文学科

科目名	英会話BⅢ	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位(選択)	担当者	ジュリアン ナット
授業概要	This course focuses on the development of students' listening and speaking skills. Students will have the opportunity to listen to a variety of authentic recordings and will develop speaking skills through a combination of pair, group and class activities.				
授業計画	① Orientation ② Food: Listening(1) ③ Food : Listening(2) ④ Food: Speaking ⑤ Student Life: Listening(1) ⑥ Student Life: Listening(2) ⑦ Student Life: Speaking ⑧ Review		⑨ Money: Listening(1) ⑩ Money: Listening(2) ⑪ Money: Speaking ⑫ Etiquette: Listening(1) ⑬ Etiquette: Listening(2) ⑭ Etiquette: Speaking ⑮ Review ⑯ Examination		
評価方法	Continuous Assessment 50%, Final Exam 50%				
履修条件					
教科書	Pearson: <i>Northstar 2 Listening &amp; Speaking</i> ; Mills, Frazier (Fourth Edition)				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	英会話BIV	配当年次 単位数	2年後期/演習 1単位(選択)	担当者	ジュリアン ナット
授業概要	This course focuses further on the development of students' listening and speaking skills. Students will have the opportunity to listen to a variety of authentic recordings and will develop speaking skills through a combination of pair, group and class activities.				
授業計画	① Orientation ② Food: Listening(1) ③ Food: Listening(2) ④ Food: Speaking ⑤ Heroes: Listening(1) ⑥ Heroes: Listening(2) ⑦ Heroes: Speaking ⑧ Review		⑨ Health: Listening(1) ⑩ Health: Listening(2) ⑪ Health: Speaking ⑫ Endangered Cultures: Listening(1) ⑬ Endangered Cultures: Listening(2) ⑭ Endangered Cultures: Speaking ⑮ Review ⑯ Examination		
評価方法	Continuous Assessment 50%, Final Exam 50%				
履修条件					
教科書	Pearson; Northstar 2 Listening & Speaking; Mills, Frazier (Fourth Edition)				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	海外英語演習	配当年次 単位数	1・2年全期/演習 2単位(選択)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	アメリカ西海岸カリフォルニア州ロングビーチ市にある、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校で、8月下旬から9月中旬の2週間にわたって開講される。受講者で、所定の基準を満たし、同大学の2単位を取得したものは、本科目2単位を取得することができる。 授業では実用英語を中心に、アメリカ史など英語文化の背景も学び、見学として、アナハイム市のディズニーランドをはじめ、名所・旧跡を訪れる。ホームステイも体験する。 実際のアメリカの大学の講義を理解できるようになり、実用英語の運用能力が高まり、また、アメリカの風俗・習慣などの文化に直に触れることができることから、受講者に好評を博している。				
授業計画	イントロダクション  オリエンテーションの実施(必要に応じ何回も実施する) 夏季英語研修の目的と意義 研修の内容 海外旅行の手続きなど		2018(平成30)年度は8月30日(木)から9月13日(木)までの2週間を予定している。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校によって具体的なスケジュール表が作成され次第、受講者全員に配布する。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での受講に先立って、本学でオリエンテーションを予定している。		
評価方法	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校の評価基準に準拠する。				
履修条件	初回のオリエンテーションで指示する。				
教科書	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校指定教科書。				
参考書	初回のオリエンテーションで指示する。				

英語英文学科

科目名	ビジネス・イングリッシュ	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位（選択）	担当者	佐々木 真帆美
授業概要	卒業して就職してから、ビジネスの場でつかいこなすことができる英語力を身につけることを目標とします。ビジネスの場で使用されるボキャブラリの習得、会話の練習、英語の履歴書やメール・手紙等の書き方に関する演習、日米ビジネス文化における理解等を通して総合的な英語力の向上を目指します。また、様々なシチュエーションにおける英語の対話を聞き読解することで、生きた英語を習得します。ほかに、ビジネス用語が頻出するとされる TOEIC の練習にも随時取り組む。				
授業計画	① ガイダンス ② Telephone 1 / Business Email ③ Telephone 2 / Business Letter ④ At the Reception Desk / Corporate Websites ⑤ TOEIC練習問題 ⑥ Company Profile / Product Advertisements ⑦ Your Job / Product Specifications ⑧ Business Plans / Operating Instructions		⑨ TOEIC練習問題 ⑩ Talking about the News / Science News ⑪ Tourist Information / Safety Signs ⑫ Dinner Talk / Abstracts ⑬ Preparation for Meetings / Data and Graphs ⑭ Presentation 1 / Presentation 2 ⑮ Various Requests / Patent Description ⑯ 試験		
評価方法	期末試験 50%、小テスト 20%、課題・発表 30%				
履修条件	まじめに取り組むこと（予習・復習をしっかりとし、授業に集中すること）				
教科書	金星堂、Tomoko Tsujimoto 他著、「Getting Global! Engineer Your Future with English」				
参考書	適宜プリントを配布				

英語英文学科

科目名	タッチタイピング演習	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位（選択）	担当者	小島 ますみ
授業概要	パソコンの画面や原稿を見、キーボードは見ないでタイピングする方法をタッチタイピング法という。本演習では、タッチタイピング法に習熟するための系統的な訓練を行い、正確かつ迅速なタイピング技術を身につけるとともに、ワープロソフトの効率的な利用法を学ぶことで、コンピュータ活用能力全般の向上を目指す。具体的目標としては、7月に実施されるパソコン英文スピード認定試験2級(日本情報処理検定協会)の合格を目指し、タッチタイピングの訓練を行う。可能であれば、準1級、1級の合格を目指す。				
授業計画	① ガイダンス ② タッチタイピングの基礎練習(1) ③ タッチタイピングの基礎練習(2) ④ タッチタイピングの基礎練習(3) ⑤ タッチタイピングの基礎練習(4) ⑥ タッチタイピングの基礎練習(5) ⑦ タッチタイピングの基礎練習(6) ⑧ 模擬試験・文書作成(1)		⑨ 模擬試験・文書作成(2) ⑩ 模擬試験・文書作成(3) ⑪ 模擬試験・文書作成(4) ⑫ 模擬試験・文書作成(5) ⑬ 模擬試験・文書作成(6) ⑭ 模擬試験・文書作成(7) ⑮ 検定試験 ⑯ 期末試験		
評価方法	出席状況・授業態度20%、課題20%、期末試験30%、検定試験の結果30%				
履修条件					
教科書	『パソコンスピード認定試験 模擬問題集 英文編』日本情報処理検定協会				
参考書					

英語英文学科

科目名	英語情報教育演習	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(選択)	担当者	小島 ますみ
授業概要	本演習では、ワープロソフト (MS-Word) と表計算ソフト (MS-Excel) の基本操作に習熟し、日本情報処理検定協会の実施する情報処理技能検定試験表計算部門2級、日本語ワープロ検定2級の合格を目指す。2つの検定試験対策を通じ、ワープロソフトと表計算ソフトの効率的な利用法を学ぶとともに、コンピュータ活用能力全般の向上を目指す。可能であれば、準1級や1級にも合格できる力をつける。				
授業計画	① ガイダンス ② MS-Excelを用いたデータ処理演習(1) ③ 情報処理技能検定(表計算) 模擬問題(1) ④ 情報処理技能検定(表計算) 模擬問題(2) ⑤ MS-Excelを用いたデータ処理演習(2) ⑥ 情報処理技能検定(表計算) 模擬問題(3) ⑦ 情報処理技能検定(表計算) 模擬問題(4) ⑧ 表計算検定試験	⑨ Ms-Wordを用いた文書作成演習(1) ⑩ 日本語ワープロ検定模擬問題(1) ⑪ 日本語ワープロ検定模擬問題(2) ⑫ Ms-Wordを用いた文書作成(2) ⑬ 日本語ワープロ検定模擬問題(3) ⑭ 日本語ワープロ検定模擬問題(4) ⑮ 日本語ワープロ検定試験 ⑯ 表計算検定試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、課題20%、検定試験の結果60%				
履修条件	なし				
教科書	『日本語ワープロ検定試験 模擬問題集 2級・準2級編』『情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集 2級編』日本情報処理検定協会				
参考書					

英語英文学科

科目名	英語論文演習	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位(選択)	担当者	中西 満貴典
授業概要	そもそも、研究論文とはなにか、について考え、論文作成の手順を学ぶ。「英語論文演習」の名のとおり、英語論文の構成について学ぶ (MLA: Modern Language Association の方式による) が、つねに、日本語論文ではどのようなことが当てはまるのかについても言及していく。それにより、研究論文の書き方を、テーマ選びや資料収集などを順々に理解し、論文を構成する基本的な要素や構造、あるいは表記法なども学ぶ。後半は、実際に英文エッセイライティングの基本的な知識を演習形式によって体得する。				
授業計画	① ガイダンス ② 研究論文とはなにか ③ 論題・文献リスト ④ ノートを作ることの重要性・盗用という問題 ⑤ 概要・草稿 ⑥ 資料の評価、情報、メモ ⑦ 引用、要約 ⑧ 盗用の回避	⑨ 引用資料一覧、記載例(書物) ⑩ 定期刊行物、電子出版物 ⑪ 出典の例示 ⑫ Structure ⑬ Outlining ⑭ Introduction & Conclusion ⑮ Unity & Coherence ⑯ 定期試験			
評価方法	授業態度10%、小テスト20%、定期試験70%				
履修条件	なし				
教科書	授業の中で指定する。				
参考書	なし				

## 英語英文学科

科目名	インターネット・イングリッシュ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位（選択）	担当者	小島 ますみ
授業概要	インターネットの利用を通して、メディア・リテラシーの基礎力を養成することを目標とする。インターネットを通して生きた英語に触れ、リーディング力を向上させるとともに、現代的な社会問題について必要な情報を収集し、得られた情報を適切に整理し、英語で効果的に意見を述べるスキルを育成する。受講生は、与えられたテーマに沿って小グループ内でディスカッションやプレゼンテーションを行う。また、エッセイを書いて発表するなど、能動的な参加が求められる。加えて、授業外多読課題を課す。				
授業計画	① ガイダンス、Search Engine ② Cooking ③ Music ④ Museums ⑤ Famous People ⑥ Movies ⑦ World Heritage ⑧ Web news	⑨ Machine translation (1) ⑩ Machine translation (2) ⑪ Health care ⑫ 9/11 ⑬ Capitalism ⑭ Internet and privacy ⑮ Review ⑯ 期末課題の提出			
評価方法	出席状況・授業態度35%、課題50%、期末課題15%				
履修条件	CALL 教室の定員を超える場合は、抽選を行う				
教科書	適宜プリントを配布する。				
参考書					

## 英語英文学科

科目名	検定英語演習 I	配当年次 単位数	1年前期／演習 1単位（選択）	担当者	佐々木 真帆美
授業概要	世界の共通言語である英語のコミュニケーション能力を高める方法はいろいろありますが、英検やTOEICなどの検定英語において「〇級に合格する！」とか、「〇〇〇点とる！」など、具体的な目標をもって取り組むこともその一つです。その際、試験の傾向を熟知することも必要です。本授業では、実際の英検の試験問題と同じ形式の問題を解くことを通して、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの問題に取り組み、総合的な英語力の向上を目指します。				
授業計画	① インTRODクシヨN ② Chapter 1 ③ Chapter 2 ④ Chapter 3 ⑤ Chapter 4 ⑥ Chapter 5 ⑦ Chapter 6 ⑧ Chapter 7	⑨ Chapter 8 ⑩ Chapter 9 ⑪ Chapter 10 ⑫ Chapter 11 ⑬ Chapter 12 ⑭ Chapter 13 ⑮ Chapter 14 ⑯ 期末試験			
評価方法	出席／受講態度／小テスト等 30%、課題 20% 定期試験 50%				
履修条件	まじめに取り組むこと（予習・復習をしっかりとし、授業に集中すること）				
教科書	金星堂、John Joseph 他著、「大学生の英検対策総合演習（2級・準1級編）」				
参考書	適宜プリントを配布				

英語英文学科

科目名	検定英語演習Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期／演習 1単位(選択)	担当者	小島 ますみ
授業概要	この授業では、TOEIC 550点突破に必要な英語力や攻略法を身につけることを目指す。授業では、毎回日常的なテーマを基にリスニング、リーディングの演習を行い、基礎的な英語力の向上を図るとともに、TOEIC各パートの攻略法を身につける。リスニングでは、ナチュラルスピードの会話に慣れることを目標とする。リーディングでは、テキストから必要な情報をすばやく読み取る力をつけるとともに、出題頻度の高い語句・表現や、基本的な文法もしっかりと身につける。				
授業計画	① Unit 1: Restaurant ② Unit 2: Entertainment ③ Unit 3: Business ④ Unit 4: Office ⑤ Unit 5: Telephone ⑥ Unit 6: Letter & E-mail ⑦ Unit 7: Health ⑧ 中間試験		⑨ Unit 8: Bank & Post Office ⑩ Unit 9: New Products ⑪ Unit 10: Travel 1 ⑫ Unit 11: Travel 2 ⑬ Unit 12: Job Applications ⑭ Unit 13: Shopping ⑮ Unit 14: Education ⑯ 期末試験		
評価方法	出席状況・授業態度30%、中間試験25%、期末試験25%、TOEIC(College TOEIC または公開 TOEIC) のスコア20%				
履修条件	なし				
教科書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST (SEIBIDO)				
参考書					

英語英文学科

科目名	インターンシップ	配当年次 単位数	1年全期／集中 1単位(選択)	担当者	古東 佐知子
授業概要	岐阜グランドホテルで、一定期間企業研修を受ける。研修を受けることによって社会に出てからの具体的な就業イメージ描くとともに、希望する職業とのマッチングなど、就職することへの意識を高めることを目的とする。事前研修では、インターンシップ派遣学生としての心構えを身につけ、研修後は研修レポートを作成する。なお、本科目に合格すれば1単位を修得することになるが、この単位は卒業単位に算入されないので注意すること。				
授業計画	① インターンシップ事前指導(1) ② インターンシップ事前指導(2) ③ 研修先での事前指導 ④ 企業における研修(1週間) ⑤ 研修レポートの作成				
評価方法	インターンシップ事前指導での取り組み、研修レポートを総合的に評価する。				
履修条件	進路として就職を希望していることが望ましい。				
教科書	なし				
参考書	なし				